

# 平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

|                   |                                                              |          |                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 中長期目標<br>(学校ビジョン) | 生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。 | 今年度の重点目標 | 1 確かな学力の育成<br>2 豊かな人間性の育成<br>3 自己実現のための進路指導の充実<br>4 地域との連携による学校づくり |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|

| 評価項目        | 現状                                                                                                            | 具体項目           | 具体目標                           | 具体方策                                              | 中間評価 | 評価に対するコメント                                                                                                            | 最終評価 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------------------------|---------------------------------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 確かな学力の育成  | 『学び』創造委員会で育成したい学力の目標を「主体的に学び、考え、表現する力」とし、ブレテーマ学習・テーマ学習の実践とともに授業改革の取組も始めた。今後、目標実現のため更なる取組の推進が必要である。            | 学力の定着          | 1単位39時間の授業時間を確保する              | 年間行事予定を守り、急な授業カット・短縮授業を削減                         | B    | 各部署の協力により、概ね達成できている。                                                                                                  |      |
|             |                                                                                                               |                | 組織的、計画的に授業改革を推進する              | 教科会や授業公開週間での授業研究の推進<br>年1回の授業評価(アンケート)の実践         | C    | 1学期の段階で国、数、理、英、美、情報の各教科が研究授業を実施した。授業アンケートの未実施者が半数にのぼる。                                                                |      |
|             |                                                                                                               |                | 実習や活動を通して系列の充実を図る              | 教科会の定例化と学習委員会での内容検討を充実<br>保育施設実習・介護施設実習の実施        | B    | 教科会については定例化が進んでいる。学習委員会は科目選択の比重が大きく、長期的な検討に時間が掛けられていない。保育、介護、野外実習については予定どおり実施している。英語の多読は2、3年の各1科目で実施、英語に親しみを持つ生徒が増えた。 |      |
|             |                                                                                                               |                |                                | 野外(体育)実習の実施                                       |      |                                                                                                                       |      |
|             |                                                                                                               |                |                                | 英語での多読指導の導入                                       |      |                                                                                                                       |      |
|             |                                                                                                               |                | 発展的学力を支援する                     | 講習の実施と内容の充実                                       | B    | 学力の定着と進路実現に結びつけられるよう取組中である。                                                                                           |      |
|             |                                                                                                               | 思考力、判断力、表現力の向上 | 資格取得を推進し、前年超の取得者を出す            | 受験者増のため各種検定試験の案内を周知<br>合格者増のためのきめ細かい受験指導          | B    | 家庭科ではほぼ予定通り実施していて、生徒は意欲的で、例年を越える合格率の級もあった。商業科では授業、ポスター、SHRなどで周知し、基本的な事項に重点を置き、問題分析を行い合格者増に努めている。                      |      |
|             |                                                                                                               |                | 課題解決能力育成のためテーマ学習とブレテーマ学習の充実を図る | 有識者講演会、社会人講話の実施<br>受験も視野に入れたプレゼンテーション力の育成         | B    | 学習成果発表会は1月実施予定。講演も未実施の企画が多いが、今年度のテーマ学習は校外に出ることも多く、生きる力をつけるための社会勉強をする機会に恵まれた。                                          |      |
|             |                                                                                                               |                |                                | 学習成果発表会の開催                                        |      |                                                                                                                       |      |
|             |                                                                                                               |                | 探求的学習の拡大を図る                    | 『学び』創造委員会をベースにした実践公開の活性化<br>ジグソー理論を含む学習理論研修への参加促進 | B    | まず委員が積極的に授業公開し授業改革に取り組んでいる。                                                                                           |      |
|             |                                                                                                               |                | 小論文の指導力向上を図る                   | 外部講師による研修会と校内研修会の実施                               | B    | 次年度以降は更にレベルアップするために検討中である。                                                                                            |      |
|             |                                                                                                               |                | 外部指導者を利用して表現力の育成を図る            | デッサン講習会の開催<br>社会人講師による「美術鑑賞セミナー」                  | B    | デッサン講習に関しては1年生の参加者が少なかった。鑑賞授業は生徒の反応もよく、継続して来年度も実施したい。                                                                 |      |
|             |                                                                                                               | 困り感のある生徒の指導    | 生徒情報を共有し適切に生徒をサポートする           | 教育相談部主催の情報交換会の開催<br>いじめ対策委員会の定期的な開催               | B    | 随時情報交換を実施している。委員会もアンケートを実施したり、定期的に開催している。                                                                             |      |
|             |                                                                                                               |                | 実効的な特別支援体制を維持                  | 特別支援委員会の適時開催と適切な対応                                | B    | 生徒個々に応じて委員会を開き、適切な対応を心掛けている。                                                                                          |      |
| 2 豊かな人間性の育成 | 「基本的な生活習慣の確立」は遅刻者の減少など着実に成果をあげており、今後もさらに継続する必要がある。また、生徒会、部活動、環境、国際理解などへの参加は、主体性のある人間性を育成する意味で、今後益々重要になってきている。 | 規律指導           | 遅刻者数の更なる削減を図る(前年比30%減)         | 朝の校門指導の実践<br>多遅刻者への事後指導の徹底                        | C    | 昨年度と比べ遅刻者が減った学年もあるが、全体として増えており、学年と連携した取り組みが必要である。                                                                     |      |
|             |                                                                                                               |                | 正しい服装の着こなし指導の徹底を図る             | 着こなしセミナーの実施<br>生活指導部発信の全職員による指導の推進                | C    | セミナーを実施し、着こなしは改善しつつあるが、まだ十分とはいえないので、全体で一層の声掛けが必要である。                                                                  |      |
|             |                                                                                                               |                | あいさつ習慣を定着させる                   | マナーアップキャンペーン、あいさつ運動の展開                            | C    | 生徒会とも協力し運動はできたが、あいさつのできない生徒がまだおり、粘り強い取り組みが必要である。                                                                      |      |
|             |                                                                                                               |                | 環境教育                           | 環境に対する関心の育成<br>TEAS活動の推進、環境講演会の実施                 | B    | 各活動は着実に遂行されている。                                                                                                       |      |
|             |                                                                                                               | 生徒会活動と部活動の活性化  | 生徒会主催行事満足度80%以上を維持する           | 執行部会の実動と、学校祭等への主体的取組の促進<br>特別支援学校との交流活動           | B    | 執行部は学校祭関係だけでなく色々な場面において積極的に活動を行ってきた。交流活動では今年度もけんべい交流事業を実施、参加生徒にとっては実りのある交流となっている。                                     |      |
|             |                                                                                                               |                | 部活動加入率80%以上を維持する               | 1年生への部活加入調査の実施、見学日程の周知、工夫を凝らした部紹介と一斉部登録の実施        | B    | 年度当初の加入率は高かったものの、その後退部者が出てきており、今後はそのような生徒への指導が課題点である。                                                                 |      |
|             |                                                                                                               | 読書のすすめ         | 確実な一斉読書体制の維持                   | 朝読書時の指導体制の改善                                      | B    | 概ね良好。状況によっては各教室の教員ローテも考える。                                                                                            |      |
|             |                                                                                                               | 国際理解教育         | 国際交流事業を促進する                    | 韓国での海外研修の実施                                       | B    | 韓国は参加者にとって有意義な研修となり、帰国後の学習意欲の向上にも繋がっている。アメリカは意欲的な生徒を派遣できており、帰国後も積極的に交流を継続している。                                        |      |
|             |                                                                                                               |                |                                | アメリカSTA高校への研修派遣                                   |      |                                                                                                                       |      |

評価基準 A: 目的・目標を達成した B: ほぼ計画(予定)どおり推進している C: 取り組みとしてはやや遅れている(取組は進めたが、成果が出ていない) D: 一層の(新たな)取組が必要

# 平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

|                   |                                                              |          |                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 中長期目標<br>(学校ビジョン) | 生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。 | 今年度の重点目標 | 1 確かな学力の育成<br>2 豊かな人間性の育成<br>3 自己実現のための進路指導の充実<br>4 地域との連携による学校づくり |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|----------|--------------------------------------------------------------------|

| 評価項目              | 現状                                                                         | 具体項目              | 具体目標            | 具体方策                      | 中間評価 | 評価に対するコメント                                                                                                    | 最終評価 |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------|---------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 3 自己実現のための進路指導の充実 | 「進路実現」において安易なものから、身の丈の少し上にチャレンジする傾向が現れてきたことで、生徒の可能性をきちんと把握し伸ばす指導力が求められている。 | キャリア教育の推進         | 産社の取組みの充実       | 学びEXPO(社会人講話、学校・事業所見学)の展開 | B    | 予定通り実施。高校で学ぶ心構えができた。                                                                                          |      |
|                   |                                                                            |                   | 進路探究心の育成        | 進路講演会の実施                  | B    | 具体的な指導を受け、進路意識の向上に結びついた。                                                                                      |      |
|                   |                                                                            | 進路指導の充実           | 適切な科目選択指導       | 教員間の情報交換と十分な面接時間の確保       | B    | 有効に活用は出来ているが、時間確保には課題がある。                                                                                     |      |
|                   |                                                                            |                   | 教員の指導力向上        | 先進校視察の実施                  | B    | 得た情報を共有し、有効に活用したい。                                                                                            |      |
|                   |                                                                            |                   | 進路情報の発信         | 進路だよりの刊行                  | A    | 既に時期を考えた内容で5回発行した(昨年度は年間3回)                                                                                   |      |
|                   |                                                                            |                   | チャレンジする姿勢づくり    | 校外模試の実施と受験の促進             | B    | 推薦希望者全員が、条件である模試の回数をクリアした。                                                                                    |      |
|                   |                                                                            |                   | 組織的な進路指導体制の構築   | 進路情報交換会の開催と活用             | B    | 3年には有効的であるが、他学年は十分に活用できていない。                                                                                  |      |
| 4 地域との連携による学校づくり  | 「地域貢献活動」は自分たちの活動を発信するだけでなく、地域の人々との関わりを持ち、地域への感謝を表す場となる必要がある。               | 地域貢献と社会参画         | 地域の美化に貢献する      | コスモスロード、通学路清掃の実施          | B    | PTAと生徒会・部活・有志等多くの生徒が参加した。                                                                                     |      |
|                   |                                                                            |                   | 社会とつながる教育       | 法や金融等の専門家による講演会、出前授業等の推進  | B    | 法や金融の講演会や出前授業などには取り組めていない。米子市街地、コンビニなど身近なテーマでの学習は興味関心をひくものであった。この社会とつながる地域学習への取り組みが大学のAO入試にも活かされ、目に見える成果があった。 |      |
|                   |                                                                            |                   |                 | テーマ学習での中心市街地活性化計画への参加     |      |                                                                                                               |      |
|                   |                                                                            | 情報発信              | 教育活動を常時発信する     | ホームページの頻繁な更新              | B    | 情報の更新は進んでいるが、全体的には至っていない。                                                                                     |      |
|                   |                                                                            |                   | 特色ある芸術教育を発信する   | 総合美術展の開催                  | B    | 実施に向けて準備中                                                                                                     |      |
|                   |                                                                            | 近隣の公民館、中学校、施設との連携 | 文化部活動のアピールを推進する | パフォーミングアーツの開催(演劇・ダンス・吹奏楽) | B    | 実施に向けて準備中                                                                                                     |      |
|                   |                                                                            |                   |                 | ハイホットダンスフェスティバルの開催(ダンス)   |      |                                                                                                               |      |
|                   |                                                                            |                   |                 | 成実公民館祭、尚徳地区生き生きフェスタ等への参加  |      |                                                                                                               |      |